

中山間地域における 「在宅医療連携拠点事業」の取り組み

社会福祉法人 天竜厚生会

社会福祉法人 天竜厚生会 （医療関係部門）

○天竜厚生会診療所（在宅療養支援診療所）

標榜科目 内科、歯科を中心として12科目

一般病床 19床

○天竜厚生会第二診療所

標榜科目 内科、精神科

医療療養病床 12床

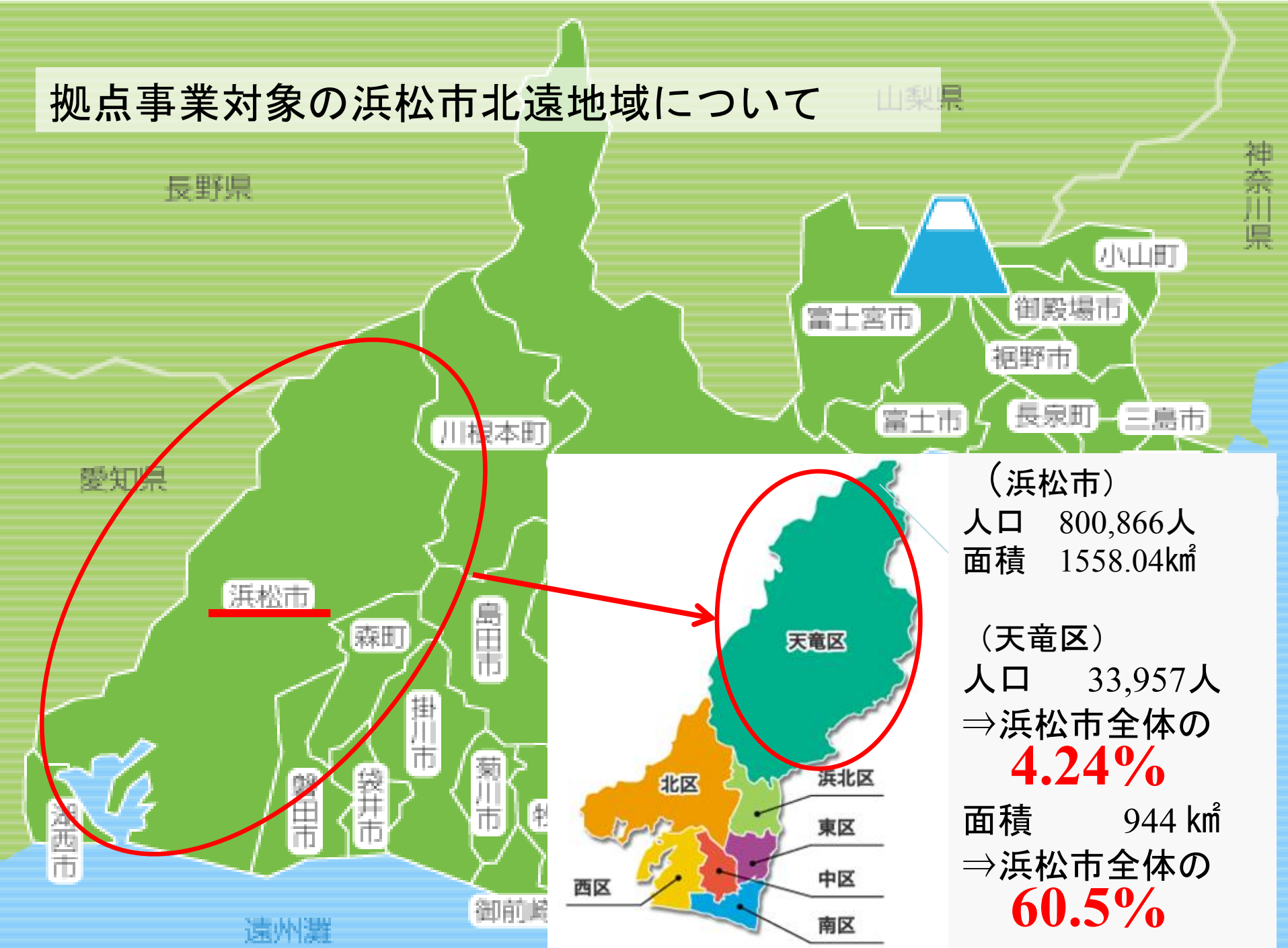
一般病床 6床

○龍山診療所(浜松市の運営委託事業)

標榜科目 内科、外科、小児科

在宅医療を実施するうえで必要な訪問看護ステーションを併設しています。

拠点事業対象の浜松市北遠地域について



【龍山・佐久間・水窪地区概要】

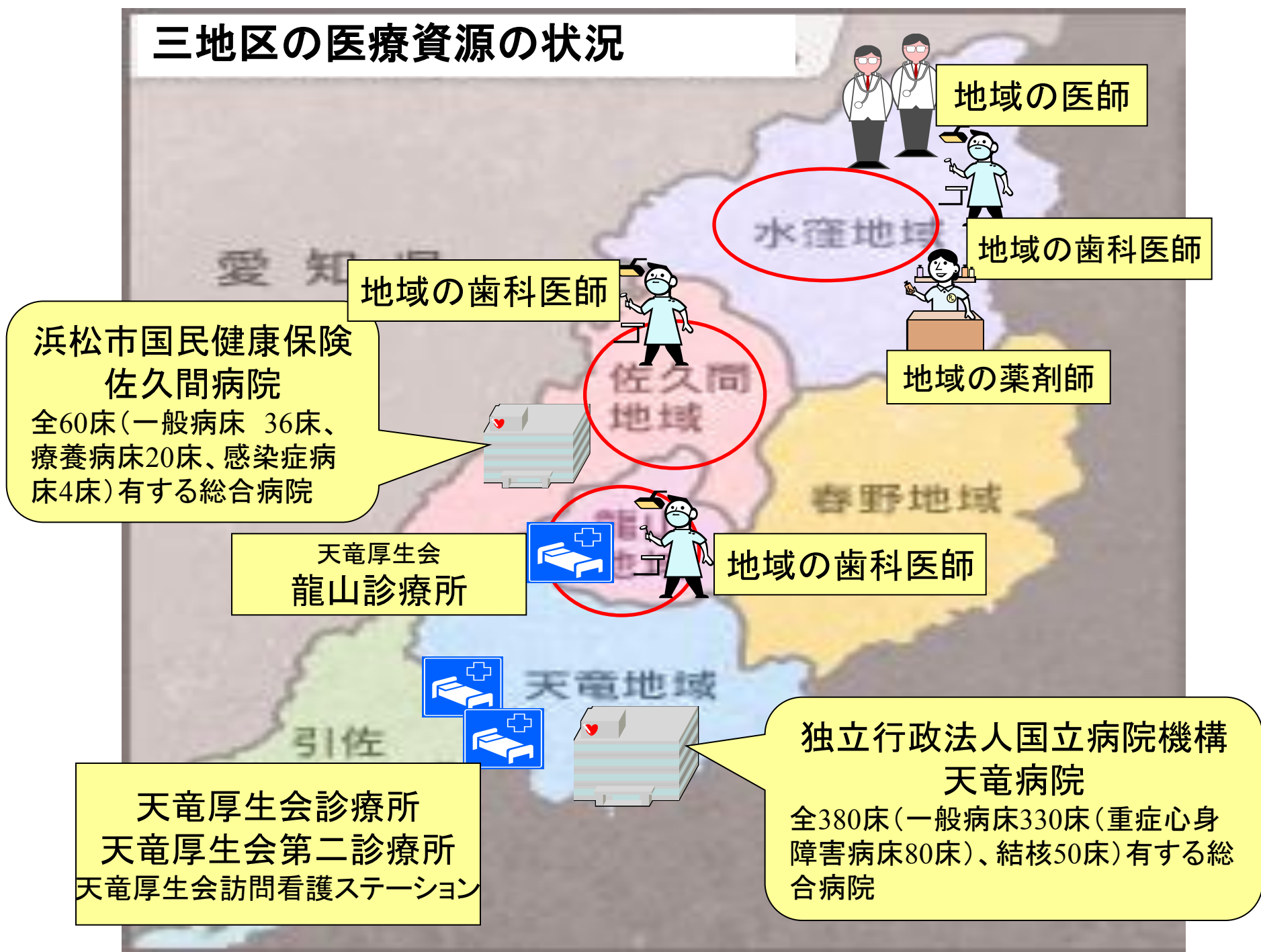


浜松市より運営委託を受けている地域包括支援センター北遠中央の管轄範囲である龍山地区、佐久間地区、水窪地区に特化し、事業展開。

近年林業の低迷や都市部への人口集中化に伴い、急激に人口減少をきたしており、限界集落も点在する課題の多い地域である。

	龍山	佐久間	水窪	浜松市全体
人口	886人	4,488人	2,614人	816,484人
世帯数	382	2,044	1,214	320,346
高齢化率	51.35%	50.70%	49.70%	23.06%

三地区の医療資源の状況



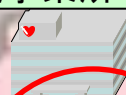
三地区の介護資源の状況

地域包括支援センター北遠中央
水窪支所(サテライト)



みさくぼの里
特別養護老人ホーム50床、ショートステイ10床の入所施設。ほかにデイサービス、ホームヘルプ、居宅介護支援事業所の事業展開を行っている。

佐久間病院指定
居宅介護支援事業所



グループホーム



ホームヘルプ
デイサービス事業所



さくまの里

特別養護老人ホーム80床、ショートステイ20床の入所施設。ほかにデイサービス、ホームヘルプ、訪問入浴、グループホーム、指定居宅介護支援事業所、地域包括支援センター北遠中央(佐久間サブセンター)、高齢者生活福祉センターの事業展開を行っている。

地域包括支援センター
北遠中央



天竜厚生会
ホームヘルプ
デイサービス
居宅介護支援事業所

天竜地域

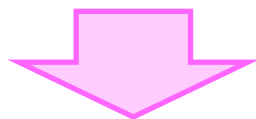


天竜厚生会
介護老人保健施設 **さいわい**
定員127名の介護老人保健施設。北遠地域で最も北に位置する老人保健施設となる。デイ・ケアが併設する。

【委員会の設置】

当事業の今後の継続性と有用性を担保するために・・・

行政機関との連携は不可欠！



(構成機関)

- ・ 地元浜松市天竜区の「健康づくり課」、
「長寿保険課」の代表
- ・ 医療機関の代表者
- ・ 介護事業所の代表者



⇒平成24年9月 第一回委員会を開催。

平成25年3月第二回開催予定。

①多職種連携の課題に対する解決策の抽出

1) 多職種合同カンファレンス開催

平成23年8月27日(土)

平成24年7月 8日(日)

2) 全体会開催

平成23年11月22日

3) 全体報告会開催

平成24年3月21日

平成25年3月予定

4) ワーキング活動(平成23年度)

5) プロジェクト活動(平成24年度)



1) 多職種合同カンファレンス

【テーマ】

「医療と介護の連携上の課題」

北遠地域で安心して暮らしていくための支援として何が必要か考えてみましょう。～事例を通して～



3) 全体報告会

平成24年3月21日

北遠地域の医療・介護関係者対象に平成23年度「在宅医療連携拠点事業」の一年間の事業報告会。

コメンテーター：日本福祉大学 平野隆之教授

⇒平成24年度は平成25年3月開催予定。

地域の医療・介護従事者、行政関係者等総勢

46名の参加。

一年間を振り返り関係者よりご意見・・・

- ・ 地域や職種を超えて議論できたことは良かった。
- ・ 次年度への継続の必要性。 など・・・



4) ワーキング活動（平成23年度）・・・年間で計7回開催

【検討内容】

- ①入退院時の書式検討、退院後の状況の情報伝達について
- ②地域医療連携パス（口腔衛生）
- ③介護を必要としている人の情報共有のあり方（インフォーマルサービスについて）
- ④医療機関等同士の情報共有について

（参加機関・メンバー）

- ・ 天竜病院
- ・ 佐久間病院
- ・ 平賀歯科医院（第五回より参加）
- ・ 特別養護老人ホーム さくまの里
- ・ 特別養護老人ホーム みさくぼの里
- ・ 天竜区健康づくり課
- ・ 地域包括支援センター北遠中央
- ・ 天竜厚生会診療所
- ・ 老人保健施設 さいわい
- ・ 龍山ヘルパーステーション

（メンバー）

上記機関の歯科医師、言語聴覚士、保健師、看護師、ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー、ヘルパーなど。



5) プロジェクト活動（平成24年度）

① I Tによる医療介護連携

医療と介護の連携を促進するためにI T化を検討。

（参加機関・メンバー）

鈴木診療院、佐久間病院、天竜病院、行政機関（天竜区健康づくり課）、地域包括支援センター北遠中央、

天竜厚生会診療所、天竜厚生会訪問看護ステーション

- ・平成24年10月18日
- ・平成24年12月20日
- ・平成25年2月28日

②介護保険給付のデータ分析

介護保険給付のデータから北遠地域の実情や実態を数値的に分析し、検証を行う。

（参加機関・メンバー）

行政機関（天竜区長寿保険課、天竜区健康づくり課）、さくまの里、浜松市社会福祉協議会天竜地区センター、地域包括支援センター北遠中央、龍山ケアサポートセンター、精神相談支援事業所ほくえん

- ・平成24年10月24日
- ・平成24年12月20日
- ・平成25年2月21日

③地域医療連携パス（口腔衛生）検証

昨年度より検討してきた地域医療連携パスの運用実績から、検証を行う。

（参加機関・メンバー）

平賀歯科医院、行政機関（天竜区健康づくり課）、みさくぼの里、龍山ヘルパーステーション、天竜厚生会診療所歯科室、老人保健施設さいわい

- ・平成24年12月13日
- ・平成25年1月29日
- ・平成25年3月予定



②在宅医療従事者の負担軽減の支援

地域の在宅医療提供体制を構築すると同時に、チーム医療や多職種協働のための情報共有を図る取り組みを行う。

1) 医療・介護従事者間の情報共有

⇒○FAX送信時における連携書式

「北遠地域 医療・福祉相談用」を継続運用し検証。

※個人情報につき、誤送信厳禁

[FAX送信票] 北遠地域 医療・福祉相談用

平成 年 月 日

(施設・事業所名) _____

(所属) _____

(氏名) _____ 様

(送信先FAX) _____

※送信前に番号を再度確認してください。

(施設・事業所名) _____

(所属) _____

(氏名) _____

(連絡先TEL) _____

(返送先FAX) _____

※送信前に番号を再度確認してください。

対象者氏名	生年月日	M・T・S	年	月	日	性別	男・女
住所							

相談・意見	返答意見

(記入日) 平成 年 月 日

(記入者氏名) _____

※情報提供に関する本人・家族の了解をいただいています。

【在宅医療連携拠点事業】北遠地域

⇒○ITによる医療・介護連携

地域の医師含む医療・介護従事者間でIT利用による情報共有が行えないか検討。しかし、北遠地域の特性を踏まえて現在は必要に至らない結論となった。現在既に行われているような「顔の見える関係」による連携をより深めていく必要性を従事者間で共有した。

⇒○ホームページの開設

2月中を目途に、北遠地域で行われている当事業のホームページ開設予定。連携している機関の情報はじめ、活動内容等、情報共有のひとつとして検討。

⇒○メーリングの継続運用

北遠地域における医療・介護関係機関、行政機関の情報共有のためにメーリングリストを立ち上げ、継続運用中。

2) 医療連携体制

北遠地域は人的資源が十分ではなく、チーム医療そのものを構築することが難しい。各職種における守備範囲も広い。

(平成23年11月22日開催 全体会からの意見より)

○水窪地域については、内科開業医院が2件のみ。医師不足により地域におけるチーム医療そのものを構築することは困難。

○訪問看護ステーション自体がないため、地域包括支援センターの業務内容の多様化。(看護師の内服管理や受診支援、夜間のコールへの対応) など…

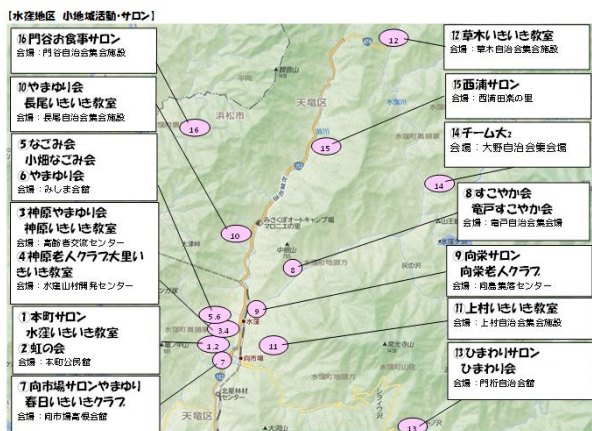
⇒それぞれの機関・事業所・行政などが連携して、職種や地域を超えて業務を補完出来る体制を検討していく必要がある。

⇒○近隣の医療機関による佐久間・水窪地区のレスパイト入院機能
○天竜厚生会訪問看護ステーションによる佐久間・水窪地区への訪問開始。
(片道：1時間、約50kmの道のり)

③効率的な医療提供のための多職種連携

地域の医療・介護資源の機能を把握し、医療・介護にまたがる支援を包括的かつ継続的に提供
 するよう関係機関の調整を行う。

1) 提供される医療やケアの質・量に関する実態把握、課題解決に向けた活動



○地域のインフォーマルサービス再検証

⇒新たに冊子化を予定

○地域の介護保険給付の実態把握

⇒浜松市介護保険課、天竜区長寿保険課に協力依頼しデータを提供していただく。データをもとに、プロジェクト活動で地域課題の解決に向け検討中。

2) 地域医療連携パス（口腔衛生）の運用と検証

昨年度より検討してきた地域医療連携パスの運用実績から検証を行う。⇒新たに冊子化予定

[illegible]

嚥下障害チェック表

当てはまるものがあるか、印をつけましょう！

- ☐ 口から食べ物がこぼれる
 - ☐ 硬い食べ物が噛みにくい
 - ☐ 鼻から食べ物が出てくることがある
 - ☐ 食後に食べ物が口中に残っている
 - ☐ 食べ物の味や温度が分かりにくい
 - ☐ 飲み込みにくい
 - ☐ 食事や水でむせる(食事中、食後、夜間、いつも)
 - ☐ 喉が渇いた
 - ☐ 声がかわる(時間帯、食事中、食後、いつも)
 - ☐ 食べ物や喉の奥で詰まる感じがする・または痛む
 - ☐ 食事をすると疲れる
 - ☐ 食欲がない
 - ☐ 体重が減った
- 



※チェック項目にひとつでも当てはまった方については早めに受診することをお勧めします。(内科・歯科)

在宅医療連携拠点事業
平成24年1月24日

M2-1

口腔ケアの手順

事前にブクブクうがいもしくは保湿剤を塗る!!
入れ歯の方は入れ歯を外しましょう!!

- ＜まず口腔内を観察＞
- ・両頬(ほっぺ)をひっぱって
 - ・上唇をひっぱって
 - ・下唇をひっぱって
- 自分の目で汚れを確認しましょう！
引っ張ることにより口腔の緊張をとる

＜順序よく磨いていきましょう＞

- ①歯の裏側(奥から前へ)
②歯と歯ぐきの境目
③舌と上あご(M2-5)参照
(奥から前へ、舌を濡らせてやさしく)

＜入れ歯の方＞ M4-2 参照



こうくう けあ まにゅある
口腔ケア 手引き

【在宅医療連携拠点事業】北遠地域

④在宅医療に関する地域住民への普及啓発

在宅医療やそれに従事する職種の機能をより広く地域住民に紹介し、地域に浸透させるための取り組みを行う。

1) 講演会予定

平成25年2月23日(土)

「地域に寄りそ医20年

～地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語～

講師：名田庄診療所 所長 中村伸一先生

2) シンポジウム開催

○平成24年10月6日(土)

「～北遠地域の在宅医療における

より良い口腔ケアの推進に向けて～」

パネリスト：地域の歯科医師3名、病院内科医師、保健師、
特養看護師、地域包括支援センターケアマネジャー

○平成24年12月9日(日)

「地域で元気に暮らし続けるための支え合い

～地域、遠方に暮らす家族、近隣住民と共に～」

パネリスト：地域の医師、病院保健師、NPO法人職員、
民生委員、遠方にご家族



⑤在宅医療に従事する人材育成

在宅医療にかかわる人材育成に積極的に関与すること。

1) 都道府県リーダー研修参加

⇒10月当会診療所医師が参加。

⇒平成25年3月「地域リーダー研修」開催予定。（静岡県医師会協力による）

2) 医療・介護従事者向け研修開催

平成24年11月27日（火）

「認知症の 医学的理解」

天竜厚生会第二診療所

所長 永山建次先生



中山間地域における地域包括ケアの実現に向けて

より具体的な課題解決に向けた活動や連携を促進するためには、地域性に着目した支援のための独自のシステムの構築が必要であり、今後も継続した取り組みが必要である。

今後も行政機関を含む多職種と協働し、地域包括支援センターと連携を取りながら、中山間地域特有の地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいく。

そして、地域住民にとってより安心した暮らしに繋がるよう、今度も地域の関係者の皆様とともに活動展開していく。

